

会 員 各 位

日本品質管理学会  
会長 小原 好一日本品質管理学会 JSQC規格「プロセス保証の指針」講習会  
「品質はプロセスで作るこむ」

日本品質管理学会では、JSQC規格「プロセス保証の指針」が制定・発行された機会をとらえ、下記の講習会を開催することになりました。会員・会員外を問わず多数ご参加くださいますようお願いいたします。

記

**日 時**：2018年7月30日（月）13:00～17:30**会 場**：日本科学技術連盟 東高円寺ビル 地下1階講堂  
東京都杉並区高円寺南1-2-1（当日事務局携帯：090-9128-7979）**定 員**：80名**申込締切**：2018年7月23日（月）**参加費**：会 員 4,320円（締切後4,860円）※当日払い 4,500円（締切後5,000円）

（税込、テキ 非会員 6,480円（締切後7,020円）※当日払い 6,500円（締切後7,500円）

スト代含む）準会員 2,700円、当日払い3,000円 一般学生 3,780円、当日払い4,000円

**申込方法**：ホームページから受付できます。 <http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>**申込み先**：日本品質管理学会 事務局 E-mail:apply@jsqc.org FAX 03-5378-1507

## 《概 要》

プロセス保証の指針がJSQC規格（日本品質管理学会規格）として2015年12月16日に制定・発行されました。プロセス保証とは、プロセスのアウトプットが要求される基準を満たすことを確実にする一連の活動です。これは、品質保証、すなわち、顧客・社会のニーズを満たすことを確実にし、確認し、実証するために、組織が行うべき体系的活動であり、TQMの中核となる活動の一つです。JSQC規格「プロセス保証の指針」（JSQC-Std 21-001:2015）では、生産・提供においてプロセス保証を効果的に実施するための指針をまとめています。その中では、プロセス保証の考え方、基本に加え、プロセス保証の構成要素として、標準化、工程能力の調査・改善、トラブル予測と未然防止、検査・確認、工程異常への対応の5つについて規定しています。さらに、有効なツールである工程能力指数、プロセスFMEA、保証の網についても解説しています。この講習会では、この規格をテキストに、TQMを実践するうえで中核となるプロセス保証について学びます。

## 《プログラム》

時 間	内 容	(敬称略)
13:00～13:05	開会挨拶	事業・広報委員会 委員長 斉藤 忠
13:05～13:15	1. JSQC規格「プロセス保証の指針」制定のねらい	標準委員会 委員長 安藤 之裕
13:15～13:35	2. プロセス保証の役割と構成要素	慶應義塾大学 山田 秀
13:35～14:45	3. プロセス保証の基本・進め方・ツール(1) 標準化と工程異常の対応 工程能力の調査・改善	前田建設工業 村川 賢司 慶應義塾大学 山田 秀
14:45～14:55	休 憩	
14:55～15:55	4. プロセス保証の基本・進め方・ツール(2) トラブル予測・未然防止 検査・確認	元 デンソー 入倉 則夫 中央大学 中條 武志
15:55～16:05	休憩・全体討論準備	
16:05～17:25	5. 全体討論（質疑応答） 進行とまとめ	講演者全員 安藤 之裕
17:25～17:30	閉会挨拶	事業・広報委員会 委員長 斉藤 忠